

令和7年度在宅医療・介護連携推進事業 市民フォーラム
「人生会議について知ろう」開催要領

1. 背景

高知市が取り組む在宅医療・介護連携推進事業では、医療と介護の関係機関が連携し、切れ目なく支援することで、医療と介護の両方を必要とする高齢者等が、住みなれた地域で自分らしい生活を人生の最期まで続けることができることを目指している。取組の一つとして、ACP(人生会議)の普及のための出前講座に取り組んでいるが、より多くの市民に自分自身が望む生活や医療、ケアなどについて考え、家族や支援者等の身近な人と話し合い、共有することの重要性を伝えるため、市民フォーラムを企画する。市民フォーラムの開催については、高知市在宅医療・介護連携推進委員会の協議内で、提案いただいた取組の一つであることから、高知市在宅医療・介護連携推進委員会(市民啓発ワーキンググループ)等にも助言をいただきながら、企画・開催する。

2. 目的

- (1) 参加者が、『もしも』の時について考えることの重要性が分かる。
- (2) 参加者が、ACP(人生会議)について理解できる。

3. 開催日時・場所

(場所)オーテピア 4階ホール

(時期)令和7年 11月 11日(火) 13:30~15:00 (開場:13:00~)

(定員)100人

4. 対象者

高知市民

5. 開催方法

講義形式(講師による講義+話題提供)

6. 講師

(講師) 高知県立大学看護学部看護学科

特任教授 森下安子 氏

(話題提供) 医療法人久会 居宅介護支援事業所しもぢ

主任介護支援専門員 岡林由美子 氏

7.内容・当日タイムスケジュール

13:30～13:35 (5分)

あいさつ, 資料確認

13:35～14:15 (40分)

講義:「なぜ, 人生会議が重要と言われるのか」

高知県立大学看護学部 特任教授 森下安子 氏 による講義

- ・実際の人生会議につながるよう, ワークを取り入れる。
- ・人生会議を始めるために活用できるツールを紹介する。
(紹介するツール:高知県リーフレット, わが家の思い出ノート, 想いをかなえるノート)

14:15～14:35(20分)

話題提供:「人生会議の実際について」

居宅しもち 主任介護支援専門員 岡林由美子 氏 と

高知県立大学看護学部 特任教授 森下安子 氏 による話題提供 (インタビュー:森本)

- ・人生会議をやってよかったこと, やったことで困らなかったこと。
- ・やってみたからこそ話せる大事なポイントや始めるコツ。

14:35～14:40(5分) 質疑応答

14:40～15:00(20分) 情報提供, アンケート

- ・基幹型地域包括支援センターから情報提供:想いをかなえるノート(10分)
- ・図書館・科学館から情報提供(5分)
- ・高知県在宅療養推進課作成ツール, 住宅課作成ツール(5分)

8.案内及び周知方法

- ・あかるいまち
- ・ホームページ
- ・マスコミ取材依頼
- ・公式 LINE
- ・Lico ネットイベント情報
- ・地域包括支援センターへの配付(14 地域包括+1出張所+1基幹型)
- ・民生委員, 主任児童委員への啓発 683名(健康福祉総務課に依頼)
- ・福祉委員, 気くばりさん, 笑顔マイレージ登録者 730 名(高知市社会福祉協議会地域協働課ボランティアセンターに依頼)
- ・NPO 市民会議会員に依頼(NPO 市民会議に協力依頼)
- ・居宅介護支援事業所, 介護保険施設等への依頼

(Lico ネットグループツールを活用し, 介護保険課から啓発)

・在宅医療・介護連携推進委員会委員からの啓発

(各職能から配付→各職能が市民や市民が訪れる場所に設置することができるのか要調査)

9. 申込方法

(主な申込方法)コールセンターへの電話・FAX, 電子申請での申込(QR, URL)

・地域共生社会推進課に直接きた電話, メール, FAX 申込もカウント

(申し込み期間)9/22~11/10※コールセンター対応分